

考え、話し、 変わる日本へ。 だれひとり 取り残さない

立憲民主党
埼玉県第1区総支部長

たけまさ 公一



緊急報告「子ども放置」禁止条例は「撤回」に！

10月6日埼玉県議会福祉保健委員会は、「埼玉県虐待禁止条例改正案」を可決しました。自民党県議52名が提出した条例案です。

その内容は、「**小学校3年生以下の子供を自宅などに子供だけで放置を禁止する**」「**放置を発見したら通告・通報を**」「**各自治体に放置防止施策を**」「**罰則規定はない**」という内容です。

条例の説明に立った自民党県議によれば、「放置が禁止されない場所は存在しない」「児童に危険が及び、保護者がすぐに児童のもとに駆けつけられなければ『放置』にあたる」とし「放置の基準は明確にできない」としています。

これでは、①**子供の留守番（ごみ捨てなど短時間でも）**②**子供だけの登下校**③**子どもだけで公園で遊ぶ**④**子どものお使いなどが禁止事項となると考えられます。**

父親母親男女が共に働き子育てや家事を担う生活に変わっているからこそ、「106万円、130万円の壁見直し（扶養控除・社会保険加入の見直し）」が行われようとしていることに逆行するものです。

もちろん、子供に対する虐待は許されません。欧米で、「家庭に子供だけを残して親が外出してはいけない。ベビーシッターなどを雇うことがある」ことは承知しています。国内で、同様の対応ができるかといえば難しいのではないのでしょうか？

さいたま市PTA協議会が「見直し」を求める意見書を公表し、署名を集め、多くの反対意見が県に寄せられ、メディアも取り上げた結果、10月10日提出者から取り下げが示され、10月13日の埼玉県議会本会議で「撤回」となりました。

一度立ち止まって考えよう。見直そう。

実は、埼玉県議会（定数93名）の51の選挙区は、1人区が25、2人区が17、3人以上の区が9となります。1人区が半分です。県民の民意を代表することが難しくなります。選挙になっても「死に票」が出るし、1人しか当選しないので無投票となりやすいのです。

今年の4月の県議会議員選挙では、16選挙区23名が無投票でした。内、さいたま市内の2つの区を含め10選挙区が1人区でした。県議会選挙区ごとの定数のあり方も問われると考えます。

今回、埼玉県議会では委員会で可決した条例案は撤回となりました。有権者の皆様が意見を示せば「変えること」ができます。

白紙委任を与えないでください。投票に行ってください。選ばれる側の政党、候補者も反省が必要です。県議会でも県民の意見を反映させることができました。国会でもできます。

「一度立ち止まって考えよう。見直そう。」

立憲民主党 5つの重点政策

1. 児童手当拡充(所得制限をなくし、
高校卒業年次まで一律15000円を給付)
2. 教育の無償化(幼児教育・保育から高等教育まで)
と公立小中学校の給食の無償化
3. 保育士配置基準の見直しと給特法の抜本的見直し
4. 賃上げの加速と不本意非正規雇用者を減らしていく
5. 若年カップルや子育て世代も利用できる
新たな家賃補助制度の創設

立憲民主党埼玉県第1区メンバー（敬称略）

**野本 怜子**

浦和区県議

**武田 和浩**

見沼区県議

**添野 ふみ子**

浦和区市議

**堤 日出喜**

緑区市議

**三神 尊志**

見沼区市議

**佐々木 郷美**

見沼区市議



たけまさ公一

LINE@ やってます

友だち追加方法

 LINEアプリの「友だち追加」から
QRコードで追加

① 友だち ② 友だち追加 ③ QRコード


 公式アカウント検索で「たけまさ公一」もしくは
「たけまさ」と入力しても友だち追加ができます。

たけまさ(武正)公一 埼玉県第1区総支部長

 1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。
妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大
法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

 1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以
後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理
を歴任。2017年に議席を失うが、チャレンジを。


立憲民主党埼玉県第1区総支部 たけまさ公一事務所

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

 たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記
など、様々な情報を発信中！ **たけまさ**で検索！

takemasa-k.jp

たけまさ公一公式サイト

